

手話言語法ニュース

2022年 12月 28日 NO.74

事務局：一般財団法人全日本ろうあ連盟 〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8F

TEL：03-3268-8847/FAX：03-3267-3445

手話言語法制定推進運動本部：委員長 石野富志三郎 事務局長 久松三二

普及啓発・広報グループ：中西久美子・倉野直紀・大杉豊・間船博・佐藤英治

条例・ネットワーク支援グループ：大竹浩司・久松三二・田門 浩・渡部芳博・橋本博行

ろう乳幼児等支援グループ：石橋大吾・山根昭治・倉野直紀（兼）・吉野幸代

↓解説動画↓



「手話を広める知事の会・手話言語フォーラム」開催

2022年11月15日（火）、衆議院第一議員会館大会議室で、「手話を広める知事の会総会・手話言語フォーラム」を開催しました。昨年度はオンラインメインですが、今年度は3年ぶりの対面とオンラインを併用したハイブリッド開催となりました。海外からはアダム・コーサ 国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）会長を来賓としてお迎えし、自民党の牧島かれん元デジタル大臣、公明党の塩田博昭参議院議員からは手話言語法の早期制定に賛成すると力強い発言をいただきました。

第2部の手話言語フォーラムでは、「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法から手話言語法立法のために」をテーマにご発言をいただきました。講師の皆様の感想をご紹介します。

全日本ろうあ連盟 理事長 石野富志三郎氏

「『情報コミュニケーション』法の公布に伴う具体的とり組みや2025年デフリンピックの東京開催など、長年の



手話言語法制定までの道のり⑥

運動が実を結んだことをフォーラムで報告できました。一方、「手話言語と音声言語は対等でない」という考え方により、きこえない・きこえにくい子どもたちに手話言語でなく日本語を学ばせるという動きは、現代もなお根強く残っています。この動きは、手話言語の獲得や手話言語での学び、情報取得、コミュニケーションが保障される機会を奪うことにもなります。このような事態を防ぐためにも、「手話言語法」の制定が急務だと痛感しています。」

弁護士 田門浩氏

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション法成立の際の附帯決議にて手話言語法制定の検討が求められ、障害者権利条約の実施に関する総括所見において手話を公用語として法律で認めるべきとの勧告が出たのに続き、手話を広める知事の会・手話言語フォーラムが3年ぶりに対面開催され、県知事の手話言語法制定運動への熱意を目の当たりにし、手話言語法の実現への思いを新たにしました。」

全国手話通訳問題研究会 理事 伊藤利明氏

「We Love コミュニケーション」パンフレット普及・署名ではじまった運動が、今年度施行された障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法につながり大きな成果であったと再認識できました。さらに、

あらゆる分野での手話言語の利用の権利を保障する手話言語法制定に向けての運動が大事であること、今後与野党含めた国会議員の議論のテーブルに乗るよう、働きかけることなどが重要だと感じました。」

日本手話通訳士協会 理事 渡部芳博氏

「パネルディスカッションをとおして、改めて、当事者をはじめとする手話言語に関わる皆さんの粘り強い運動の重要性を再認識しました。手話言語が音声日本語と同様一つの言語であることを法律で定め、併せて、両輪となる手話言語通訳者の拡充に向け、専門職としての手話通訳士の国家資格化が重要です。これからもみなさまと共に頑張っていきたいと思います！」

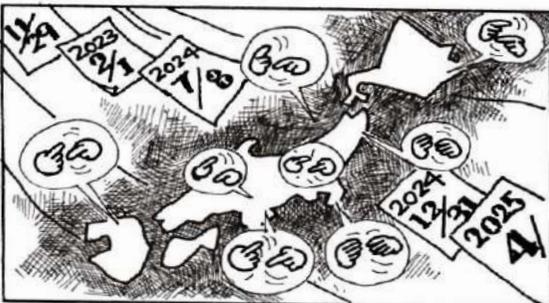
北海道ろうあ連盟 参与 佐藤英治氏

「三年ぶりの対面式開催でしたが、一つの階段が上がったようです。数年前のフォーラムにおける日本財団笹川陽平会長のことばです。「100里の道を行くものは90里を半ばとす」最後ほど難関だから9分のところで気を締めなおせという意味です。「国連勧告」「全国議会100%採択」「459自治体手話言語条例」等の客観的成果の積み重ねに確信をもち、さらなる情勢の点検をおこない手話言語法への路をともにあゆみましょう。」



2025年はどうなっている?

No.6 當 芳枝



第5回 全国手話言語市区長会手話劇祭

12月18日(日)、全国手話言語市区長会主催の第5回手話劇祭が岡山県笠岡市の笠岡市民会館で、市制施行70周年記念事業として開催されました。3年ぶりの対面開催となり、全国から集まった観客が、手話言語やきこえないことへの理解を深めました。



連盟の山根教育・文化委員長も出席、鑑賞しました。

「幼児による手話歌、手話コンテスト、笠岡市長による手話漫才、手話狂言、今井絵里子氏の講演会、人気ろう演劇グループ男組による手話コント等盛り沢山で、満席に近い900名が手話言語の素晴らしさに魅了される内容であった。また笠岡市地域福祉課の職員、ボランティアの方々の温かい目で接してくれたことに感謝したい。」とのコメントがありました。

デフリンピックが日本で開催される頃には、きこえる人も皆手話ができるようになってきているかも…!? きこえない人も、いつでも困っている人に手を差し伸べることができますね!



来賓として、連盟からは大竹副理事長が招かれ、一般参加者による「手話コンテスト」では審査員も務めました。大竹副理事長は、「手話コンテストや手話狂言などが発表されたが、特に園児らの手話コーラス(笠岡公民館わくわく手話教室)は愛おしく、また笠岡市長と笠岡市職員の手話漫才は、表現がおどおどしいとはいえ、ひょうきんさも見られ、愉快的な場面でもあった。ここに笠岡市の手話言語に対する熱意をすごく感じた一日であった。」と述べています。

来年は山口県萩市で開催されます。



こんなところに手話言語

横須賀美術館では、神奈川県聴覚障害者福祉センターと協力して、所蔵品の一部に、手話による作品の解説動画をスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を通じて試行的に提供しています。

「ポケット学芸員」とは、展示物のナレーションや解説文をスマートフォンで楽しめるようにするアプリです。

横須賀美術館では、手話動画を見ることができる作品の案内板に、ポケット学芸員のマークの中に連盟作成の手話マークを入れたものを表示して、解説動画があることを分かるようにしています。

アプリ内で、作品の画像をスワイプすると、手話による解説動画を見ることができます。

きこえない人もより気軽に作品鑑賞を楽しめるようになりますよね。



横須賀美術館「手話による作品解説動画あり」の表示

条例成立情報

福島県新地町

2022年9月16日「新地町手話言語条例」が成立しました。同日施行です。



群馬県草津町

2022年6月10日
「草津町手話言語条例」
が成立しました。
2022年7月20日施行で
す。



皆さんの地域の
「こんなところに手話言語」
も募集中です！
情報をお寄せください！

福岡県豊前市

2021年12月17日「豊前市手話言語条例」が成立しました。
同日施行です。

